

「ハイデルベルク・ストラスブール研修参加報告書」

京都大学文学部・研究科2年 古川 文望

今回のハイデルベルク・ストラスブール研修は私にとって初めての海外体験でありました。乗ったことのない飛行機で母国語の通じない地域に行くということで不安も多く、出発前日はかなり神経質になってしまいました。しかし、カム先生を始め、引率の先輩方や生徒の皆さんのおかげで非常に楽しく、有意義で刺激的な8日間を過ごすことができました。全行程を通してお話しさせていただきたいことは数多くあるのですが、分担の都合上、ハイデルベルクの観光をテーマにさせていただこうと思います。

京大オフィスや学生寮、ハイデルベルク城の見学といったハイデルベルクでの観光は二日間に渡ってプログラムに組み込まれており、自由時間もたっぷりいただいていたので想像以上にハイデルベルクを満喫することができました。また、ハイデルベルク大学に在籍なさっていたカム先生が案内してくださったので、地元の方に人気の駄菓子屋さんやハイデルベルク城についての小話など、ただ町に行くだけでは知り得ない様々なことを教えていただきました。色々なものを見て、聞いて、考えたのですが、ここで全てを書くことはできそうにないので中でも印象的だったいくつかに絞らせていただこうと思います。

ハイデルベルクの旧市街はハイデルベルク大学が様々なお店と混ざり合っている、大学と一体化している町でした。京大オフィスのある学生寮も市街の中にあり、知らずに歩いていると気づかないだろうと思います。重厚な石造りの町並みは想像していたドイツの町並みそのもので非常に美しかったです。

旧市街から山を見上げると目に入るハイデルベルク城は中世に建設された城で、そこから町全体を見渡すことができました。度々増築が行われたために、様々な建築様式が混ざっていたのも印象的です。地下には大きなワイン樽があり、上ることができるのですが、高所が苦手な私には少し怖かったです。カム先生が教えてくださった城にまつわる伝説や知識は、非常に興味深く面白いものばかりでした。

また、哲学の道からも町を一望できました。京大の近くにも哲学の道と名付けられた道がありますが、こちらはかなり急な坂道でした。この道からハイデルベルクを見ると、ネッカー川を挟んだ向こう側に大学のある町が見えるので、鴨川を挟んでみる京大と位置関係が似ているように思えます。

他にも、地元の人々の利用するマーケットに連れて行っていただいたり、ハイデルベルク大学の学食で昼食をしたり、仲良くなった学生の方に学生オーケストラのコンサートへ連れて行っていただいたり、と得難い経験をたくさんさせていただきました。ワークショップでは優秀な学生の皆さんと交流したことで、今まで知らなかった視点や考え方に刺激を受けました。対して、こういった観光では様々な日本との違いを感じ、自分のナショナル・アイデンティティを再認識しました。これから専修している日本史を学ぶにあたり、他地域から見た日本の歴史の特異性や、歴史の普遍的な部分について意識していきたいと思います。